



石城の春蠶掃立て

蟻量十萬七千グラム

掃立ては来る十日を中心にして

石城郡下に於ける本年の春蠶 除十三年に至る六ヶ年の内霜 掃立第一回の豫想は蟻量十 萬七千六百六十一グラムで來 る十日を中心として掃立てら れる。模範である此の收蠶見込みは 七萬五千二百一貫で霜害のあ つた昨年とすれば約三割餘の 増産であるが桑の發育との 關係も氣候順調なので給 桑に過不足なきものと見られ ている。而して今年の増産計畫 は基準數量を去る昭和八年以 前年同期に比し二五九二口

平局の四月の貯金

口數金額共に増加

前年同期に比し二五九二口 金額で二八四九二圓増

仙合逓信局では時局下の貯蓄 報國に十四年度の貯金高を管 内に於て五千五百萬圓の割當 てを受け同管内一萬四千餘の 郵便局のうちで常に優位の存 在を制してある平郵便局に重 き期待をかけられてあるが年 度早々の四月に於ける平局の 成績は

- 受九七〇七〇(七六一二)
- 一九八一二〇(一九六〇四)
- 七四〇(二〇七〇)
- 五二五〇五三二(四一五)
- 五二五九四(括弧内は前年 同期)

右の差が口數に於て二五九

支那單語
阿片は鴉片でヤビエ
ン、ひまし油のことを
ビーマーニ、丸薬は
同一文字でワンヤオ、
膏薬も同じ文字でカ
オヤオ、散薬のことを
ミニツツヤオ、水薬は
薬水でヤオシヨイ

需要期の悲鳴

配達夫に惱

東水仲買商達

平市の東水仲買商は需要期に 達入つたので營業の諸準備中 であるが本年は容易に人を雇 へず殊に最近の人手不足に悩み 配達員に當らないので從來一 需要期の悲鳴

濱通に約六十萬俵の

木炭増産計畫協議會

如何にして之を實現するか

濱通り木炭同業組合では縣木 檢支所と合同をもつて政府の 増産計畫に則すべく来る十四 日午前七時から平市郡團練事 務所棟上に三郡下の木炭改良 組合幹部並びに企業者約百名 の會同を求めて右の協議會を 開催の筈であるが當日は縣山 林課、濱通り營林署長、木檢 支所長及び組合幹部も席に臨 み政府に於ける増産一億四千 萬俵は本縣への割當で百六萬 二千(二割七分)で縣下にこ の平均程度を割當てられるも のとすれば濱三郡では昨年度 の平木檢支所管内百六十五萬 俵、濱江同支所の七十萬俵を 合計する二百三十五萬俵に對 して六十萬俵の増産に當りこ れに如何なる具體的計畫を立

親族會議

從軍嘆願書

是非採用してと

石城郡植田町の金畑一修重次 (七三)さん夫妻は息子二人に孫 六人ありながら何れも第二乙 種で其れに孫の久保大三君は 病氣のため出征出來ず此の時 變下に申譯がないと最近親族

平の春季清潔

配達夫に惱

来る十五、六日

平市の春季清潔法は今日日 警署前通りに分界線として 西部一帯は来る十五日(月曜) 東部一帯は翌十六日(火曜)に 施行することになった

小名濱で戦死病

歿勇士の慰靈祭

小名濱町青年團では今日五日午 前十時から同町公園忠魂碑前 に於て日清日露役の戦死勇士 士並に滿州事變支那事變の同 戦死勇士の慰靈祭

取付工事中の

警城橋の打合

昨日奥山技師出張 縣道小野新町平線に於ける平 市内の警城橋は目下南部の 取付路工事中であるが昨日 縣の奥山技師夏井川改修事務

平公園の

ツ、ジ見頃

漸く観客に賑ふ

平公園が自慢の桜花に次 へで誇る初夏に於ける花 の王ツ、ジ園は黄紅白紫 色さまざまの數百種が研 磨を凝らして咲き揃ふばかり 漸く見頃に達入つたので 昨日今日相當の観客を誘 つてゐるが市では例によ つて花の夜景にも趣きを 添ふべく電燈飾を貼じ地 方の各學校、會社及び諸 團體に案内状を發し懇切 な迎客準備を手に配してゐ るが明土曜から日曜にか けて恰度見頃の花は一層 の人出を呈することであ らう。

戦地の便り

只今の〇〇市にも

邦人の國防婦人會

石城郡大野村出身 青木 誠志

職業紹介所の葉

平職業紹介所の編

改正法が何故に職務委員の 制度を設けたか義に述べた 様に如何に紹介所が充實さ れた今日と雖も勞務供給調 整の機能を紹介所單獨の力 で津々浦々まで浸透させる と云ふことは到底不可能で 之が完全を期さうとするに は紹介所と一致合体して活 動を爲す所のものが必要で あり、之と協力して始めて 實績を収むることが出来る のである、其の必要の爲め

按摩さんの

汗の血兵献金

小名濱町の按摩マツサジ師 會では現下の非常時に盲人の 爲め何等献すところなきを申 譯なしと會員十三名で繰ぎ高 から献金したる五圓十錢を代

平署衛生主任會

司法保護委員會

平署では今日午前十時から 郡部各町村及び炭礦諸會社等 の衛生主任會を同署會議室に 開き春季清潔法施行日割その 他を協議した

文魁文堂

電話313番

可なり廣汎重要にして市 町村長獨力にて容易に之を 完全に行ふことが出来ぬの で市町村長が之れ等の仕事 をする場合、聯絡委員は市 町村長を補助して市町村内 に於ける勞働供給の適正を 圖ることが一つと、更に職 業紹介所長から直接たるを 問はず、通牒や其の他の方 法で補助を求められた場合 には其の必要に應じて市町村 長と共に區長方面委員、各 學校、男女青年團、婦人會 在郷軍人分會、其他産業團 体と聯絡して遺漏なき處置 いてゐる次第である

農業方面

農業保険 愈々誕生(下)

▲受け取る保険金額、は原則として水稲は一反歩當り自作で二十四、小作は十圓地主十圓、桑は一反歩當り自作、小作が各二十四、麥類は一反歩當り自作、小作各十圓であるが、これは農作物が三割以上の減収があつた場合に支拂はれるものであつて其の支拂ひ額はあらかじめ農作物の減収程度に應じ果敢的に決定してゐる、尚ほ損害の評価、肥培管理その他耕作状況の調査などは損害評價委員を依頼しこれに當らせる筈である(終り)

農業着手期を十日位早める(上)

新潟縣經濟部の農業經營の合理化出張室王國の新潟縣に於ても努力不足のため縣經濟部では融雪の春耕期を迎へて勞力補充対策に大策であるが大休市町村の經濟更生委員會勞力需給調整部を中心として共同作業は勿論、資力利用、農機具の共同利用等に努めもつて農業經營の合理化をはからうとプランを進めてゐる、特に應召軍人遺家族の經營には應召遺家族の耕地の共同管理規定をつくり、勤勞奉仕の精神を發揮して圓滿なる達成をはかるやうに努めてゐる。

命の御用内は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

産科婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄

入院隨意 木村病院
病室完備
平市新川町九一 電話一六四番

内科、小兒科 平市田町 電話五二三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
院長 醫學士 高久忠

1939を行く

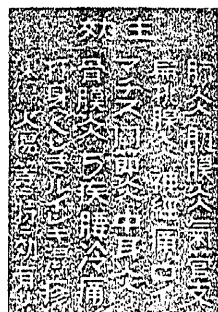
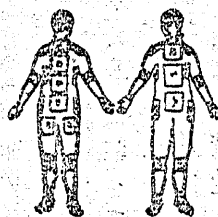
逸品揃ひに

春のシヨール
晴雨兼用傘
春の子供服

各種陳列

ツルヤ

電一四〇



山野邊藥局
平市 五丁目角
電話 三〇七

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

根本 産科醫院
根本 莊次郎
根本 貞雄
電話 三四番
(入院隨時)

新時代の要求
平市南町 平看護婦會
電話 三〇七
御手不足の御家庭
輕い御病人の付添
妊婦産婦の御家庭

專門 皮膚科
泌尿器科
性病科
院醫尻江
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九二番

赤外光線治療所
赤外光線治療所開院
電氣化學者藤澤正則先生多年苦心研究ノ結果發明セラレタル光線治療器
ニシテ一部光線ノ如キ有害ナル炭酸瓦斯ヲ發生セズ
光線溫和ニシテ、人体ニ放射スレバ皮膚ヲ透過シテ作用
ヲ起スノデアリマス、附(カ)アボン太陽器、電磁器、爪光
發生器等ニアラズ、他ノ光線器ト比較シ治療アラン事ヲ
望ム、

適應症
肋膜炎、腹膜炎、腎臟疾患、不眠症、腰痛
肺炎、蓄膿性、中耳炎、扁桃腺炎、貧血症
神經痛、子宮病、經小使、胃腸、便秘、頭痛
呼吸器、高血壓、神經衰弱、痔、淋疾、齒痛
美顏術、其ノ他ノ疾患、一度御試シアレ

渡邊方 赤外光線治療所
平市大町新川端 電五六四

日下家政婦會
會員同志の御加入(派出なき期間に裁縫や)を御誘ひ致します(編物をお教授致します)

平日白銀町十番地 (電話七二三番)
會長 日下すい子

便利で 日下家政婦會の
經濟な 派出婦を御利用下さい
身元確かで品行方正ですから
何を任せしても安心です

平日白銀町十番地 (電話七二三番)
會長 日下すい子